

片押し（シングル）タイプのご案内

標準タイプのディスクブレーキは、2つのシリンダーでブレーキディスクを挟み込む形状となっています。

取付部の形状やブレーキディスクの厚さなどの条件で標準タイプのディスクブレーキを取り付けできない場合は、片押しタイプをご利用頂く事ができます。

片押しタイプは標準タイプのシリンダーが片側だけの製品です。

シリンダー間の隙間を調整しているディスタントピースは付属しておりませんので、パッドとブレーキディスクの隙間が適切な隙間になるよう取付方法を設計してください。

片押しタイプの制動力は標準タイプの半分になりますので、設計時にご留意ください。

片押しタイプをご注文頂く場合は、取付部の穴を貫通穴タイプかネジ穴タイプかお選び頂けます。

ネジのサイズは標準タイプの製品と同じサイズになります。

片押しタイプの型番は標準タイプの型番の末尾に「S」が付きます。

取付部の穴が貫通穴タイプの場合は続けて「H」が付く、ネジ穴タイプの場合は「S」が付きます。

例)

DBA-10 の片押しタイプは

貫通穴タイプの場合 DBA-10SH

ネジ穴タイプの場合 DBA-10SS

取付部の穴は貫通穴タイプと
ネジ穴タイプが選べます

